

芳賀赤十字病院だより

ハート クロス HEART CROSS

特集 心不全再入院予防チーム



もおか木綿踊り、参加者みんなで記念撮影！

認定看護師紹介コーナー（感染）

～地域とつながる～
登録医情報

- 医療法人社団佑潤会 金子医院(真岡市)

Information

- もおか木綿踊りに参加しました！
- 後援会よりご寄贈いただきました
- 日本赤十字社の「これまで」と
「これから」を感じられる動画をご紹介します！
- 新任医師紹介

[illegible]

♡ 切れ目のない支援



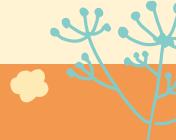
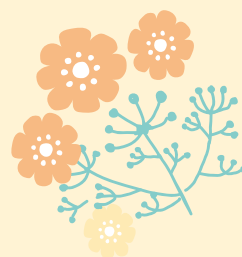
病院薬剤師から町の薬剤師へのバトンタッチ



院外向け連携研修会のお知らせ

11月5日(木)に「第1回県東地区 心不全再入院予防 地域研修会」を開催いたします。

地域の医療・介護・薬局関係者の皆様とともに、心不全患者さんを地域全体で支える仕組みについて考える機会にしたいと考えています。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



保存版 自分で守る！心不全のセルフケア Q&A

Q1 心不全では、どうして毎日「体重」と「血圧」を測るの？

A 体重や血圧は、体の変化に早く気づくための大切な目安だからです。

体重は「水分(うっ血)のサイン」、血圧は「心臓の状態や薬の効果」を確認することができます。「数日で2kg程度増えた」などの急な体重増加は、心不全悪化のサインの可能性があります。一方、血圧測定は、心不全のお薬によって血圧が低くなりすぎてふらついていないか、反対に血圧が高くなって心臓に負担がかかっていないかを確認し、安全に治療を続けるための参考になります。



Q3 症状が良くなって元気になったら、薬は飲まなくてもいい？

A 調子が良くても、自分の判断で薬をやめたり、減らしたりしないようにしましょう。

心不全のお薬には、症状を改善するだけでなく、心臓の負担を軽減し、心不全の悪化や再入院を防ぐことを目的としたものがあります。

「調子が良いから薬はいらない」と自己判断せず、薬について気になることがあれば、主治医や薬剤師に相談しましょう。

Q5 どんな症状が出たら、次の予約日を待たずに病院へ連絡した方がいいの？

A いつもと違う変化があったときは、**次の予約日まで待たずに相談しましょう。**

たとえば、「体重が数日で急に増えた」「足がむくむ」「動くと息切れがする」「夜、息苦しくて横になれない」などいつもと違うサインが出たときです。

心不全は、悪化のサインに早く気づいて対応することが一番大切です。「次の診察まで待とう」と我慢せず、早めにかかりつけ医や当院へご相談ください。なお、**「強い息苦しさ」がある場合は、迷わず早めの受診をお願いします。**

Q2 なぜ「塩分」を控えめにしないといけないの？

A 塩分を摂りすぎると、体に水分がたまりやすくなり、心不全の悪化につながることもあるためです。

漬物や加工食品、麺類の汁などには塩分が多く含まれていることがあります。できるだけ薄味を心がけ、主治医や管理栄養士から指示された塩分量を守りましょう。



Q4 心臓が悪いなら、なるべく動かず安静にしていた方がいいの？

A 心不全では、状態に応じた適度な運動が大切です。

以前は「心臓が悪ければ安静にする」という考え方が一般的でしたが、現在では、患者さんの状態に合わせて適切に運動することが勧められています。

ウォーキングなどを行う場合も、無理は禁物です。主治医や理学療法士と相談し、自分に合った運動を続けましょう。

地域にお住まいの皆様・患者さん・そして地域医療を共に支える皆様へ

心不全は日々の予防と小さな変化への気づきが必要です。気になる症状は一人で悩まず気軽にご相談ください。当チームは近隣の医療機関からのご紹介やご相談も受け付けています。地域の皆様と医療従事者の皆様に寄り添い、安心をお届けします。

介入患者数 7名(8月現在)

(内訳)

【年齢】・50代1人・60代2人・70代2人
・80代1人・90代1人

【性別】・男5人・女2人

チームカンファレンス施行回数(毎週月曜日)

運用予備会議も合わせて8月まで16回

メンバー紹介

【医師】 渡辺貴裕・村上善昭・河又典文

【看護師】 鈴木恵夢
五十嵐香菜

【管理栄養士】伊東友佳里

【理学療法士】枝康裕

【薬剤師】 栗原弘充

認定看護師紹介 感染管理認定看護師

感染管理認定看護師の金澤靖子と鎌田直美です。

私たちは、患者さんやご家族、職員が安心して過ごせる医療環境づくりを目指し、院内の感染対策に取り組んでいます。

感染対策は、すべての職員が日々の業務の中で実践することが大切です。そのため、感染対策チーム（ICT）の一員として、多職種と連携しながら、院内の感染状況を把握し、必要な感染対策につなげていきます。

また、感染症に関する最新の知識や情報を取り入れ、日々の感染対策に活かしながら、患者さんが安心して医療を受けられる環境づくりに努めています。

感染症の発生状況や変化に応じて、必要な対策を考えながら日々活動しています。これからも安全な医療環境を守るため、感染管理の専門性を活かして取り組んでまいります。



活動内容



①ICT（感染対策チーム）による活動

ICTは、医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師・事務職など、さまざまな職種で構成されています。定期的にカンファレンスを実施するとともに院内を巡視し、感染対策が適切に行われているかを確認しています。また、院内で感染症が発生した際には、感染の広がりを防ぐための対策を行っています。さらに、地域の医療機関や保健所と連携し、地域の感染対策にも取り組んでいます。



②職員教育・研修の実施

感染対策は、すべての職員が正しい知識と技術を身につけ、継続して実践することが重要です。当院では、新人研修や看護師ラダー研修をはじめ、職種や経験年数に応じた感染対策教育を実施しています。また、勉強会や実技指導を通して、手指衛生や個人防護具（PPE）の適切な使用方法など、実践に役立つ知識や技術の習得を支援しています。さらに、地域の介護施設などで感染対策に関する研修や講習会を行い、地域全体の感染対策の向上にも取り組んでいます。



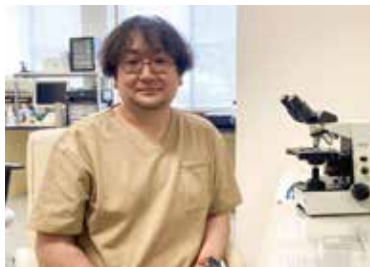
秋冬に流行する感染症にご注意ください！

秋から冬にかけては、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症、ノロウイルスなどによる感染性胃腸炎が流行しやすい季節です。感染を防ぐためには、こまめな手洗いや手指消毒、咳やくしゃみが出るときのマスク着用、換気など、基本的な感染対策を心がけましょう。特にノロウイルス対策では、石けんと流水でしっかり手を洗うことが大切です。一人ひとりの心がけが感染症の予防につながります。正しい知識を身につけて、安心して冬を過ごしましょう。



医療法人社団佑潤会 金子医院

真岡市



対象疾患 生活習慣病 消化器疾患 湿疹 イボ 膀胱炎 頻尿

医療機関名 医療法人社団佑潤会 金子医院

院長 金子 佑 先生

住所 栃木県真岡市熊倉 2-22-6

TEL 0285-83-2818

診療科目 内科、皮膚科、外科、泌尿器科、胃腸科、
内視鏡検査、発熱外来、健康診断、予防接種

休診日 火曜日、土曜日午後、日曜日、祝日、お盆、年末年始

得意分野 消化器内視鏡

当院との連携について

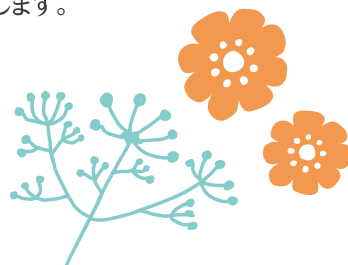
専門的な検査や入院治療が必要な患者さんを迅速に受け入れていただき、経過も丁寧に共有されるため、安心して地域医療を担えています。

地域の方々へ

身近な症状や日頃の健康管理は当院へご相談ください。精密検査や入院が必要な際は、芳賀赤十字病院と連携し切れ目なく支えます。

金子佑先生よりメッセージ

地域の皆さまに寄り添い、何でも相談できる身近なかかりつけ医を目指します。



地域の先生方は、地域の患者さんの医療を支える大切なパートナー。地域医療を支えてくれる医療機関の方々がいるからこそ、地域医療連携を進めることができます。今号は、医療法人社団佑潤会 金子医院（真岡市）をご紹介します。

♡ 後援会よりご寄贈いただきました

令和8年7月9日、芳賀赤十字病院後援会総会を開催しました。多くの皆さまにご参加いただき、当院への温かいご支援に改めて感謝申し上げます。また、iPad 1台と血圧計3セットをご寄贈いただきました。職員一同、心より御礼申し上げます。ご寄贈いただいた品々は、患者支援センターや外来で患者さんへの支援や診療に役立ててまいります。





♡ もおか木綿踊りに参加しました！

8月22日（土）、「もおか木綿踊り」が開催され、当院から約200名が参加しました。おそろいの法被を身にまとい、地域の皆さんと一緒に踊りながら、会場を盛り上げました。審査の結果、「審査員特別賞」を受賞し、参加者一同で喜びを分かち合いました。



♡ 日本赤十字社の「これまで」と「これから」を感じられる動画をご紹介します！

大阪・関西万博「国際赤十字・赤新月運動館」（赤十字パビリオン）で上映された動画と、日本赤十字社の創立150周年を記念した動画がYouTubeで公開中です！

赤十字の活動や思いが詰まった動画を、ぜひご覧ください。

※一部、地震・津波による被害の映像が含まれます。ご覧になる際はご注意ください。

動画はこちらから！



パビリオン動画



150周年動画

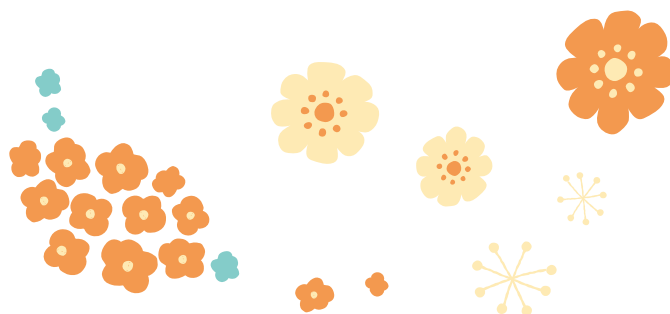
新任 医師紹介

大畑 千尋 おおつき ちひろ

- ①診療科
- ②出身地
- ③ひとこと



- ①麻酔科
- ②兵庫県神戸市
- ③精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

芳賀赤十字病院

〒321-4317 栃木県真岡市中萩二丁目10番地1
TEL 0570-01-2195(代表)
FAX 0285-84-3332
公式HP <https://www.haga.jrc.or.jp/>
編集協力 伴印刷株式会社



芳賀赤十字病院理念
地域に貢献する病院

基本方針

- 1.患者中心の医療
- 2.安全で質の高い医療
- 3.赤十字の使命に基づいた社会貢献
- 4.救急医療の充実
- 5.チーム医療の推進
- 6.適切な組織運営
- 7.経営・施設設備管理
- 8.DX(デジタル変革)の推進



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society



2027年日本赤十字社は150周年を迎えます